

令和8年8月三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 令和8年8月20日（木） 午後3時00分～午後3時52分

○場 所 三浦市役所第2分館 教育委員室

○次 第

1 開 会

2 会議録の承認

3 署名委員の指名

川 名 大 介 委員、石 渡 博 幸 委員

4 教育長報告

- (1) 青少年姉妹都市交流について
- (2) 神奈川県市町村教育長会連合会幹事会について
- (3) 学校行事について
- (4) 令和8年第3回三浦市議会定例会について

5 報告事項

- (1) 令和8年7月の後援名義等使用について
- (2) みうらっ子学力アッププロジェクトについて

6 審議事項

- (1) 議案第20号 令和8年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価について
- (2) 議案第21号 令和8年度三浦市一般会計補正予算（第2号）に関する申出について

7 その他の事業について

- (1) 令和8年度青少年教育夏期事業実施報告について
- (2) 令和8年度三浦市青少年姉妹都市国際交流受入事業について

8 そ の 他

9 閉 会

○出席者（４名）

教 育 長	及 川 圭 介
教育長職務代理	石 渡 博 幸
委 員	村 山 智 洋
委 員	川 名 大 介

○欠席者（１名）

委 員	廣 瀬 牧 実
-----	---------

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	鈴 木 基 史	教 育 総 務 課 長	浦 西 伸 一
学 校 教 育 課 長	松 田 寿 雄	青 少 年 教 育 課 長	幸 田 友 樹
学校教育課保健給食担当課長	羽 白 泰 介		

○事務局出席者

教育総務課グループリーダー	阿 井 俊 弥	教育総務課主事	飛 田 涼 馬
---------------	---------	---------	---------

○傍 聴（０名）

○及川教育長 それでは皆さんこんにちは。

ただいまより令和 8 年 8 月三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

本日は廣瀬委員から欠席の申出がありますが、定足数に達しておりますので本定例会は成立していることを報告いたします。

まず、はじめに前回会議録の承認を行います。前回会議録の案につきましては、すでに皆様のお手元に送付してございますけれども、本案修正等に関します皆様の御意見を頂戴した上で、誤字脱字等の修正につきましては、教育長一任とすることについての御承認をいただきたいと思います。

それでは修正等につきまして、御意見ございましたらお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(発言等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければお諮りいたします。

前回会議録につきまして、令和 8 年 7 月三浦市教育委員会定例会会議録のとおりとすることについて、併せまして誤字脱字等の修正につきましては教育長一任とすることについて、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○及川教育長 ありがとうございます。

御異議ないようですので、前回会議録につきましてはそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に川名委員と石渡委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

○及川教育長 それでは次第の 4 「教育長報告」をさせていただきます。

今年も猛暑が続く状況で台風も例年より多いということでありまして、先日は観測記録史上初めて茨城県に台風が上陸したというようなこともありました。

7 月 29 日には須坂市の子どもたちが三浦市を訪れての交流が行われました。詳しくは後ほど青少年教育関係の行事ということで報告をさせていただきますけれども、去年は須坂の子どもたちが三浦に来る日にカムチャツカ半島沖で地震が発生し、それに伴う津波警報が発令されて途中で須坂市に引き返したということがありました。今年も前日に大きな地震が熊本であり、心配をしましたが無事行われて安心いたしました。

教育長が集まっての会議といたしましては、8 月 6 日に神奈川県市町村教育長会連合会幹事会が小田原市で行われました。内容といたしましては、令和 7 年度の事業・決算報告と令和 8 年度の事業計画・予算案についても話し合いがなされました。また、県教育委員会への令和 9 年度予算の要望については校内教育支援センター、三浦市も今年度初声小学校に設置いたしましたけれども、その支援員の配置に関する補助金の確保、そのほかに学級担任加算という学級

担任への手当がされているわけですが、学校の職員ということでみた場合には学級担任以外、教育相談コーディネーターですとか生徒指導担当など、学級担任につきながらではなかなかやりにくいような業務を担う教員への処遇の改善ということに対して、県独自の支援制度を創出してほしいという要望や部活動の地域展開における外部委託のための財政支援として、交通費やスポーツ保険料などの保護者負担が過大にならないような財政的な支援の要望などが出されました。そのほかにも多くありますけれども、新規の要望につきましてはそういう内容を加えていこうということになりました。そのほかの会議といたしましては、来週になりますけれども8月26日に湘南三浦教育事務所管内の教育長会議が予定されております。

学校行事の関係は9月15日から17日に2泊3日で中学校の修学旅行が行われます。三崎中学校は近畿方面、南下浦中学校は広島方面、初声中学校は北陸方面ということで計画を進めております。

三浦市議会定例会が例年9月議会ということで行われておりますけれども、今年度は約1週間早まりまして8月24日告示、8月31日に本会議初日を迎える予定でおります。今回の議会は決算審査特別委員会もありますので長丁場になり、議会の中で教育委員会の所管する事務事業点検・評価についての報告もなされる予定であります。

天気予報などを見ますとまだまだ暑い日が続く見込みですが、三浦市内の小中学校の夏休みは8月30日まで、8月31日に2学期の始業式を予定しております。児童、生徒、教職員の健康と安全に注意をして、暑さもありますので十分に配慮しながら2学期を進めていくことができると思っているところであります。

教育長報告については以上であります。御質問等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○石渡委員 教員の処遇改善のための支援制度については、学級担任以外の役職に対する手当がつくように要望をされたということでしょうか。

○及川教育長 学級担任ということで特別に手当が加算されていますが、学校全体でみたときに学級担任以外の重要なポストに就いている教員のモチベーションというか、働きを認めるという意味でも県独自の支援制度になるかと思いますが創出してほしいと要望しました。そのほかいかがでしょうか。

(質問等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければ次に進みたいと思います。

それでは続きまして、次第5「報告事項」に入ります。

(1)令和8年7月の後援名義等使用について報告をお願いいたします。

○浦西教育総務課長 それでは令和8年7月の後援名義等の使用について御報告いたします。

資料の1ページ、資料1を御覧ください。

令和8年7月に資料記載の事業について、教育総務課関係2件、学校教育課関係4件、青少年教育課関係1件の後援名義等使用申請があり、承認をいたしました。

報告は以上でございます。

○及川教育長 報告は終わりました。

御質問等ございましたらお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(質問等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければ次に進みたいと思います。

続きまして、(2)みうらっ子学力アッププロジェクトについて報告をお願いします。

○松田学校教育課長 それではみうらっ子学力アッププロジェクトについて報告いたします。

資料2、2ページを御覧ください。

みうらっ子学力アッププロジェクトはみうらっ子の自己肯定感を高め、自らの成長が実感できる学びづくりを目標として令和6年度より実施をしているところでございます。

資料2、令和8年度三浦市学力調査及び全国学力学習状況調査の三浦市の調査結果に基づき、三浦市学力調査及び全国学力学習状況調査の調査結果について報告をいたします。

1 調査の概要と目的につきましては記載のとおりでございます。教育施策の成果と課題の検証、その改善を図ることが一つの目的。加えまして、各学校における児童・生徒への教育指導の充実、学習状況の改善に役立てることが大きな目的となっております。

2 「みうらっ子学力アッププロジェクト」における三浦市の今後の取組につきましては、後ほど説明をさせていただきますけれども、調査結果からは学習に関する基礎基本の定着に対して一定程度成果が見られるものの、考えを説明するなどの思考力・判断力・表現力の育成に関しまして、引き続き課題が明らかとなっております。

学校教育課では分析結果や各学校での取組状況を共有する場を設け、情報提供と共有化を行い、授業力向上に向けての研修の充実や校内研究の活性化を図ってまいりたいというふうに考えております。

3 ページ、3 実施状況につきましては記載のとおりでございます。なお、今年度の全国学力学習状況の調査につきましては、3 年ぶりに英語の教科に関する調査が行われており、オンラインで回答するというC B T方式で実施されております。

(6)その他にありますとおり、序列化や過度な競争につながらないようにするため、各学校の調査結果について市としては公表せず、市全体の結果として公表するものでございますので御承知おきいただければと思います。

4 結果についてでございます。三浦市学力調査結果につきましては各学年とも全国平均を下回っておりますが、目標値との差で考えますと、ほぼプラスマイナス5ポイントの範囲内でありまして、概ね満足する結果という状況で昨年度の結果とほぼ同程度の結果でございました。昨年度との経年比較につきましては、関係資料の10 ページから13 ページに記載してございますので御覧いただければと思います。

小学校の国語の応用における正答率の低さが昨年度に引き続き顕著でございます。条件に沿って記述する問題の無回答率が高いという傾向もあります。算数・数学においても説明する問題の正答率は低く、無回答率が高い傾向にあります。こうした傾向は昨年度と同様でございま

して、やや改善傾向にあるものの依然として課題が残っていると言えます。自分の考えを持つとともに、それを文書等で表現することについての学習の機会をより多く設け、児童・生徒のつまづきに対して適切な支援をしていく必要があります。効果的な支援について、市内の各学校の担当者による情報交換の機会を設けていく必要性を感じているところでございます。

続きまして、資料6ページの6 全国学力・学習状況調査の結果です。小学校6年生につきまして、(1)各教科の概要について、国語・算数それぞれ概ね7割程度理解している状況を○、課題がある5割未満の理解度の部分を●としてお示しをしているところでございます。

(2)児童質問調査の結果概要につきましては、児童の生活状況と学習状況を含めて質問した内容について特徴的なものをお示ししております。○につきましては概ね9割以上の児童が肯定的な回答をした項目、●につきましては、肯定的な回答が低く課題として考えられる項目をお示ししております。

資料7ページの(3)調査結果から分かることといたしまして、教科に関する調査の平均正答率は国語・算数とも全国と比べやや低い傾向がありました。必要な情報を見つけたり、自分の考えが伝わるように工夫したりする、自分の考えを記述するなどの思考力、判断力、表現力等の育成に課題が見られました。質問調査では三浦市の小学生の特徴といたしまして、英語の学習は得意ですか、英語の勉強は好きですかといった英語学習に対する意識の高さが全国や県よりも高く、英語に対する意識が高いという状況がございました。市全体のグローバル教育の推進の成果であると受け止めているところでございます。一方で読書時間については少ない傾向、SNSや動画の視聴時間については長い傾向が昨年度に引き続き見られました。

中学校3年生について、(1)各教科の概要につきましては小学校と同様の尺度で○と●をお示ししたところです。

資料8ページの(2)生徒質問調査の結果概要につきましても小学校と同様の尺度にて分析をしております。

資料9ページ、(3)調査結果から分かることといたしましては、教科に関する調査の平均正答率では、国語・英語については全国と比べほぼ同程度でございました。一方で数学についてはやや低い傾向がありました。国語・数学・英語ともに思考力、判断力、表現力等の育成に課題が見られました。

質問調査では三浦市の中学生の特徴といたしまして、文章を無回答にせずに取り組もうとする意識は小学生と比べて中学生の方が高い傾向にあることを今回見いだしており、今後の授業改善のヒントになるのではないかというふうに考えています。

三浦市 教科調査および質問調査の傾向については、クロス集計の結果から相関係数の大きい質問等を6つお示ししております。記載にあるような回答をした児童・生徒に教科の正答率が高い傾向が見られております。

こうしたことから学びに向かう粘り強さ、自力解決、自らの学習を次につなげる態度等が児童・生徒の学ぶ意欲、学ぶ力の向上に繋がることが分かり、授業改善がより一層重要であると受け止めているところでございます。

学校教育課といたしましては冒頭に申し上げましたが、分析結果や各校で取組状況を共有する場を設け、情報提供と共有化を行い、授業力向上に向けての研修の充実と校内研究の活性化を図りながら引き続きみうらっこ学力アッププロジェクトを進めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが今年度の調査結果につきましては、こちらの資料により9月4日に市のホームページにて公開します。それを受けて各小中学校から然るべきタイミングで各家庭へお知らせするというのを予定しております。

以上で報告を終わります。

○及川教育長 報告は終わりました。
御質問等ございましたらお願いしたいと思います。

○村山委員 全体的に三浦市は例年どおり応用問題への対応が全国と比べて低い傾向にありますけれども、それは全国的に見て応用がすごくできるところっていうのは、基礎も総合も総じてできるようになっているのか。若しくは応用に特化してやっていると逆に基礎が低いなどそういった傾向はわかりますでしょうか。

○松田学校教育課長 国や県全体としても、自らの考えを文章等で表現する力っていうのは積年の課題です。ですので全国的に同じような状況であろうかと思っております。基礎をしっかりやると応用ができるのか、応用だけやっても基礎ができるようになるのかなど、一方だけ学んでも学力というものは伸びるものではないっていうふうに過去から言われておりまして、学力は観点別の評価がありますがそれら3観点全てを意識しながら、総合的に指導していくことが必要であるというふうに言われておりますので、委員おっしゃるようにどっちかができればということではありません。そこは学校にも伝えて授業改善を促しているところでございます。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。

○石渡委員 例年出てきているような児童・生徒の質問調査の中では学校教育の状態が良く、三浦らしい教育が進み、児童・生徒が安心して学校教育を受けられているのかなっということを強く感じて本当にありがたいなと思いました。

1点目は目標値について、小学校は目標値にほぼ達していると思いますが目標値というのは調査する会社が設定するものだと思います。どのようにして目標値が設定されているのかということをお聞きしたいと思います。

2点目は小中学校ともに調査結果から分かることの中で、読書に対する時間が少ないことが指摘されています。図書室の利用というのも限度があるのかなっていうふうに思いますが、例えば個々のタブレットで読書ができるような環境があったりするのかなと思うんですけれども、学校と教育委員会はどのように現状を捉えているのかお聞きします。

○松田学校教育課長 目標値につきましては資料3ページ、4結果(1)三浦市立小・中学校の教科別平均正答率等の下にアスタリスクで目標値をお示ししております。問題作成の際に業者が概ね満足といえる水準として設定をしています。これを業者側が何をもって設定しているかは、確認できておりません。全国の平均正答率までいかなくてもこの目標値までは届くことを指標とさせていただいています。

2点目の読書時間につきましては、昨年度もなかなか難しい状況でありました。タブレット等で読みやすい環境をつくることも一つの方法になると、委員の御指摘から考えたところでございます。各学校それぞれに図書委員会などを設けて、様々な読書キャンペーンや学習活動等を展開しているところでございます。学校も読書はしっかりという意識を持っておりますので、教育委員会も読書が大切というのは重々承知をしております。そこを引き続き伝えて啓発をしていく必要があろうかというふうに思っております。読書時間とSNSの動画の視聴時間の長さ、こちらについては今後、家庭学習のリーフレットに載せていくなどして各家庭への協力等も求めていく必要があるというふうに考えているところでございます。

○及川教育長 よろしいでしょうか。そのほかいかがでしょうか。

○川名委員 みうらっ子学力アッププロジェクトで三浦市学力調査と全国学力学習状況調査が併用されて3年目ということで、すごく楽しみな時期にきているなと思います。小学校になると単元テストというのが概ねになってくる中、基礎基本だけではなくて応用、算数に至っては国語力がないと解けない問題があるなど、今の自分を理解することができるのかなと思いますし、全国学力学習状況調査に関しても同様な見解を持っています。

全国学力学習状況調査は今回、英語が久しぶりに実施されて、リスニングとヒアリングが概ねということでした。点検・評価でもありましたが、ALTの派遣によって文法というよりも聞いて理解をしてどういう答えを導き出すのかっていう英語を聞く力、語学力が判断できる内容だと思いました。

3年目を迎えて、この取組が何よりも先生の楽しみになってくれれば良いのかなと思っています。子どもたちがテストを受けることをネガティブに考えたり、先生にとっても結果が出て何か言われてしまうんじゃないかと思うのではなくて、調査の結果を分析することによって何かが見えてくるということで、これからすごく楽しみだなと思っていますし、まだまだ継続していただきたいという意見でございます。

○及川教育長 ここ2年ほど、学校訪問の際に学力向上という共通のテーマで我々も校長・教頭との協議をさせてもらっています。正答率が高い傾向ということで最後にまとめてありますが、授業の中で課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいくこと。また、自分の考えを持つだけではなくて、人の考えを受け入れる。その姿勢がなければ自分の考えは深まっていけないと思うので、そういうことを考えた授業をしていくようなことを学校に対して働きかけていかなきゃいけないというのを改めて思ったところであります。

正答率が高い傾向として列举されていることは当たり前のことですが、これができないのがなかなか難しいところではありますけれども、我々教育委員会としてもそこを意識しながら、学校に働きかけることができればと思っていますのでよろしくお願いいたします。

そのほかいかがでしょうか。

(質問等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければ次に進みたいと思います。

続きまして、次第6「審議事項」に入りたいと思いますが、その前にここで会議の非公開についてお諮りいたします。

議案第21号は9月の市議会に提出する予算に関する案件になりますので、この議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書きによりまして非公開としたいと思いますが御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○及川教育長 ありがとうございます。

御異議ないようですので、議案第21号は「その他」のあと非公開での審議といたします。

それでは、審議事項の(1)議案第20号 令和8年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価についてを議題といたします。事務局より説明をお願いします。

○浦西教育総務課長 それでは、議案第20号 令和8年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価について御説明いたします。

資料14ページ、資料3と本日配布いたしました資料3の別冊を御覧ください。

本議案は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく、令和8年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価報告書を別冊のとおりとすることについて承認を求めるものでございます。

報告書の内容は令和8年6月の定例会で御承認いただきました点検・評価報告書の基本方針に基づきまして作成しております。点検・評価の結果は9ページ以降に対象事業とした14の事業について、教育委員の皆様にご協力いただきました点検・評価のランク及び附帯意見や有識者委員の意見を記載しております。また、25ページ以降には、教育委員会活動状況及び教育委員会の総合所見を掲載しております。

この報告書は9月の第3回三浦市議会定例会の総務経済及び都市民生の両常任委員協議会へ報告するとともに三浦市ホームページや教育総務課等の窓口において公表をいたします。

説明は以上です。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

○及川教育長 説明は終わりました。

御質問等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

（質問等なし）

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければお諮りいたします。

議案第20号 令和8年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価について、原案のとおりとすることについて御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○及川教育長 ありがとうございます。

御異議ないようですのでそのように決しました。

それでは次第7「その他の事業について」に入ります。

(1)令和8年度青少年教育夏期事業実施報告について報告をお願いします。

○幸田青少年教育課長 青少年教育課よりその他の事業について令和8年度青少年教育夏期事業の実施状況について御報告します。お手元の資料18ページ、資料5を御覧ください。

今回報告する青少年教育課の夏期事業は3件です。

始めに1 青少年姉妹都市国際交流派遣事業についてです。本事業は8月9日から19日まで11日間、中学生3名、高校生5名の計8名の派遣生に引率2名を加えた合計10名を国際姉妹都市のオーストラリア・ウォーナンブール市に派遣いたしました。ウォーナンブール市滞在中は、派遣生各自が派遣テーマに取り組むほか、ブラウアーカレッジでの学校生活体験及びホストファミリーとの家庭生活体験を通じ、姉妹都市の市民との交流を深めました。また、8月17日からの2日間はメルボルン市へ移動し、メルボルン総領事館への訪問や市内視察を実施いたしました。この度の派遣事業に際し、派遣生は英会話研修などの事前研修に取り組み、出発前の7月27日に壮行会として市長、実行委員等に対して、派遣テーマ、渡航前の抱負の発表などを行いました。帰国後は明日8月21日に市長、実行委員等への活動報告会を開催いたします。その後、派遣生はみうら市民まつりでのパネル展の準備や来年に発行予定の報告書の作成に取り組んでいきます。

2 姉妹都市交流事業の合同宿泊についてです。7月29日から30日まで1泊2日で須坂市訪問団が三浦市を訪問し、三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジに宿泊して、両市の青少年の交流を行いました。須坂市からの訪問団は児童生徒20名、引率者7名の計27名、三浦市からは児童生徒16名、引率者11名の計27名で対応しました。事業の内容ですが、須坂市の訪問団をお迎えして交歓会を行い、その後みうら学・海洋教育研究所の職員を講師として海洋学習会を開催し、パワーポイントによる魚などの映像や海洋汚染で問題となっているマイクロプラスチックの実物の見本などを御用意いただき、講義を行うことで海についての学びを深めました。また、学習会の後はレクリエーションで体を動かしながらの交流を行いました。翌日は油壺に移動し、蠣の養殖場の見学や荒井浜の散策、東京大学臨海実験所の施設見学を行い、終了後はお別れ式を行いました。

3 三浦市子どもの船事業についてです。8月3日に市内の児童生徒29名の参加により実施いたしました。当日は9時から市民ホールにて出航式を行い、その後、花暮岸壁に移動し、神奈川県立海洋科学高等学校の実習船湘南丸に乗船しました。10時に出航し、約3時間の航海を行い海の学習や船内見学、海洋観測実習を行い、下船式の後、参加者の皆さんに記念品として、海洋科学高校で加工したびんちょう鮪の缶詰などを配布しました。

以上で青少年教育課の所管する夏期事業の実施報告の説明を終わります。

○及川教育長 報告は終わりました。御質問等がありましたらお願いいたします。

○石渡委員 報告を見ていて姉妹都市交流と子どもの船を合わせることができたら須坂市の子どもたちもよい体験ができるのではないかと思います。

○幸田青少年教育課長 須坂市は海の無い都市ですので、乗船ができれば貴重な体験になるだろうと思います。湘南丸の乗船の時期と合同宿泊の時期を合わせることにしましてはいろいろな調整が必要ですので、ご意見としていただきまして次年度以降のプログラムの参考にさせていただきたいと思います。

○及川教育長 一つの考えとしてはあると思います。今後の見通しでは、須坂市との姉妹都市交流は隔年であったかと思っています。

○幸田青少年教育課長 隔年はあくまで暫定的な措置と捉えております。今年度は須坂市の児童生徒の受入をし、令和9年度はこちらから須坂市に行くことが決定しておりますが、それ以降は以前と同様に毎年受入と派遣を行うことをこちらとしては希望しておりますので、須坂市と今後調整していこうと思っております。

○及川教育長 そういう状況も含めて、調整できるところはしながら進めていただければと思います。そのほかいかがでしょうか。

(質問等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。

なければ、続きまして(2)令和8年度三浦市青少年姉妹都市国際交流受入事業について報告をお願いします。

○幸田青少年教育課長 (2)令和8年度三浦市青少年姉妹都市国際交流受入事業について説明をさせていただきます。

資料19ページ、資料6を御覧ください。

受入事業の実施要領になります。姉妹都市ウォーナンブル市の青少年を三浦市で受入れ、交流活動を通じて国際的視野を持つ青少年を育成し、次世代の市民同士の交流を促進する目的で行います。なお、この受入事業はしばらく休止しておりましたが、令和元年度以来の再開となります。受入期間は令和8年9月24日から28日までの5日間です。派遣団は24日の夕方に三浦市に到着し、28日の昼過ぎに三浦市を発ち、翌日の朝、羽田空港より空路でウォーナンブル市への帰路につく予定です。今回三浦市に来られる派遣団は派遣生11名、引率3名の14名の予定です。三浦市滞在中の詳細な行程は現在調整中ですが、市長表敬訪問、市内の学校生活体験、ホームステイによる家庭生活体験、市内施設見学、親善パーティー等を予定しています。

説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。御質問等ございましたらお願いしたいと思います。

○川名委員 受入れ期間中に教育委員の出席が必要となる予定はありますか。

○幸田青少年教育課長 親善パーティーにご出席いただく予定です。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。

(質問等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければ、報告については終了したいと思います。
それでは次第の8「その他」に入ります。
事務局から何かありますか。

(特になし)

○及川教育長 教育委員の皆さんから何かございますか。

○石渡委員 県内での水難事故が多いというニュースをみました。小中学生の水難事故の報告はありませんか。

○松田学校教育課長 現時点での水難事故等の報告はありません。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。

(特になし)

○及川教育長 なければその他につきましては以上で終わりにしたいと思います。
ここからは非公開の案件に入りたいと思います。

(傍聴者なし)

○及川教育長 それでは審議事項の(2)議案第21号 令和8年度三浦市一般会計補正予算(第2号)に関する申出についてを議題といたします。
事務局から説明をお願いします。

○浦西教育総務課長 それでは議案第21号 令和8年度三浦市一般会計補正予算(第2号)に関する申出について、御説明いたします。

資料の15ページ、資料4を御覧ください。

本案件は令和8年度三浦市一般会計補正予算(第2号)につき、資料記載のとおり申出をすることについて承認を求めるものでございます。

補正の内容について、16ページを御覧ください。

第1表の歳入予算については、地域活性化推進事業基金繰入金を11,010千円増額するもので、こちらはみうらっ子応援プロジェクトの寄附金を基金に積立てたものになります。

次に第2表の歳出予算については、教育費学校給食費を13,000千円増額するものです。

続きまして、資料17ページの事業一覧を御覧ください。

事業の補正内容については、現在、学校給食用食器の一部が割れやすい磁器であることやその他の食器も古くなってきていることから、軽くて安全なものにするため、みうらっ子応援プロジェクトの寄附金を活用して5種類の食器類それぞれ約2,200個を学校給食事業の消耗品費により購入するため、補正予算を計上するものです。

説明は以上です。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

○及川教育長 説明は終わりました。御質問などございましたらお願いします。

○石渡委員 給食で使用する食器はどのくらいの期間で交換されるものなのでしょうか。

○羽白保健給食担当課長 使っている食器は磁気食器など割れやすい物があれば、プラスチック製の物もあります。何年使うというよりも新1年生が入学するときに購入し、6年生の分を廃棄、リサイクル等して状態を見ながら入れ替えています。

○及川教育長 壊れやすい物は壊れたら購入をして、壊れにくい物も状態を見て交換してきた。今回はみうらっ子応援プロジェクトを使って全て新しいものに変えるということですね。

○石渡委員 補充の分もありますか。

○羽白保健給食担当課長 予備も含めて購入予定でございます。

○及川教育長 2,200個を購入する予定ということは、現状の子どもの数からしても予備があるということです。

○羽白保健給食担当課長 各種類2,200個、内訳としましては飯椀、汁椀、大皿、小皿、トレイを購入する予定でございます。児童生徒数は2,000を切っておりますが、教職員や試食分などもありますので2,200を目安に購入したいと考えております。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。

(特になし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければお諮りいたします。

議案第21号 令和8年度三浦市一般会計補正予算(第2号)に関する申出について、原案のとおりとすることについて御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○及川教育長 ありがとうございます。

御異議ないようですので、そのように決しました。

以上で非公開の審議事項について終了します。

それでは以上をもちまして、令和８年８月三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

◇ 午後３時５２分 閉会 ◇
